

第11回セミナーを2月18日(土)13:30~15:30に開催しました。参加者の皆さんよりお預かりしたリフレクションをまとめました。

会場：愛知文教大学 ABUラウンジ

テーマ：対話による深い学びの実現

講師：東海学園大学 教授 水野 正朗 先生

まずは「個」の段階で教材を落とし込み、グループや全体で共有することが大切であることを再認識しました。教材との対話を各々がすることも、深い学びを生み出す上で必要であるとの意見がグループ内で出ました。

精緻化を図るためには、「他人が言ったことを要約したり、別の言葉で言い換えたりすること」も有効な手立てであると、個人的に思います。最終的には自分の知識と新しいアイデアがリンクしていくことで、深い学びになっていくということにも納得させられました。ありがとうございました。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、精緻化です。

主体的な学び、対話による学びは、現場でも盛んに取り上げられ、研修も行われていますが、深い学びについては可視化が難しく、あまり追究されていないのが現状だと思います。深い学びに向かうためのキーワードとして、本日は「精緻化」という言葉を学びました。様々な知識が網目状につながり、より詳しく理解されていく過程で、認知的に深い学びにつながっていくと理解しました。また、「他律内発的動機づけ」も興味深い言葉でした。新しい知見に触れることで、深い学びに近づくような気がしてきました。有意義な時間をありがとうございました。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、深い学びです。

本日はありがとうございました。深い学びとは何かが未だに難しく、どうしていけばいいのかわからないことが多いのですが、今日のセミナーで、対話の重要性、思考力との接続、精緻化について学ぶことができました。今まで感覚的に行っていたことを、理論的に説明していただけたような気がします。先生方との話し合いを通して自分の考えを深めることができました。今日教えていただいたことを今後は意識的・意図的に授業などに生かしていきたいと思いました。ありがとうございました。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、「深い学び」の成立は、どのように判断できるかです。

水野先生と研究仲間として学び合うことができた（できている）ことは、とても光栄で、ありがたいことです。同じような部分もありますが（笑）、学びが進んでいる部分があることを頼もしく思います。アラニ先生とも話していたのですが、授業の最初の段階での「問い」（めあてと同じではない）と、学びが終わった段階で生まれた「問い」は区別して考えたほうが良いのかもしれないと感じました。

少し認知心理学寄りだったかもしれませんが。精緻化の方略は意味はありますが、ほとんどがある意味当たり前前で、驚きがありませんでした。当たり前の視点が方略として役立つということかもしれません。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、「深い学びの科学」からの考え方は、

正直、難しく頭がついていきませんでした。ただ、これから考え、実践していこうという意識は

高まったように感じます。また、普段なかなかお話できないような先生方と共通の話題を話し合うことができたことは、とても良い学びになったと思います。多様な環境、考え方の方と触れ合うことは、自分にとってとてもよい時間になることを改めて実感することができました。少々、頭が疲れましたが、新鮮な気持ちの時を過ごすことができたことに感謝しています。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、深い学び=人間らしく生きるための学びです。

「深い学び」を考えることは、高校における「探究」のことを考えることにつながっている、というか同じだと理解しました。水野先生、ありがとうございました。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、「学びの主役は生徒」です。

生徒の学びが深まる場となるように授業を構成するためには、教科内容に対する深い見識を持つことが教師に求められていることに加えて、授業において一人一人の生徒の学びを看取ることも重要であるとあらためて感じました。本日はありがとうございました。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、深い学びとは何かです。

対話の重要性、課題の提示、教材研究等、どれも研究授業を拝見させていただいたり、協議会に参加させていただいたりすると、キーワードになることが多いが、改めて難しいなあと感じました。そして、どれもが重要だと学びました。今日の授業の「学習課題」とは何でしょうか（どうすればそれを子供から作り出すことができるか）？どうすれば「対話」につながっていくか？これからの授業で改めて見直したいと思いました。そして、同じ職場の先生と「深い学び」とは何か、話し合ってみたいと思いました。ありがとうございました。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、他律内発的、ということばが印象に残りました。教師にとって大切な術後だと思います。

ディープ・アクティブ・ラーニングということ、このところ学生と一緒に考えているのですが、また違う角度から、深い学びの在り方について、考えることができ感謝しています。さらに、現職の先生方も含めて、このような研究会が発展することを、心から祈っております。ありがとうございました。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、対話の重要性です。

対話の重要性は言うまでもありませんが、深い学びに結びつけて理論的に説明していただきました。小中学校においてはグループにしても発表に終始し、深まり合う対話になっているのを見るのは稀です。グループを確認作業の場にするだけで、十分時間が与えられていなかったり、話し合うにふさわしい骨のある課題が示されていなかったりしていることが多いようです。何よりも、どうやって深めたらよいのか生徒達はよく分かっていないというのも散見されます。その意味で、精緻化等のお話は興味深くお聴きしました。羅生門を読んだのは大昔で三船敏郎の映画を思い出しながらでしたが、松の木片の比喻は、正直なところよく分かりませんでした。原文を読み込んで、先生がおっしゃるように全体から改めて考えてみたいと思いました。ありがとうございました。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、深い学びとはどういうことかを問い直すことです。

・グループワークをどのように進めていくか模索している段階だが、形だけになり、楽しくないと思っている生徒、浮きこぼれの生徒が生まれている現状を踏まえて考えていく必要があることを知った。

・教師が主役でなく、生徒が主役となる学習活動になるようにしていく必要がある。今までの自分の授業は自分が主役の授業だった。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、指導内容の精緻化です。

膨大な資料をご用意いただいたうえに、参加者参加型のセミナーを展開していただきありがとうございました。まさに、対面の良さを生かした対話による深い学びが体现できました。今回のセミナーに参加して、2つお願いがあります。

1. ご多用とは存じますが、講師の方の資料を参加者に事前に送信していただければ、予習をして参加できますので今後の課題として検討いただければありがたいです。

2. 遠方からの参加者として、ZOOM参加もお考えいただければ幸いです。

ご多用のところ、どうぞよろしくお願いいたします。